

|  |            |                             |     |        |           |                |            |                |     |
|--|------------|-----------------------------|-----|--------|-----------|----------------|------------|----------------|-----|
| 科目ナンバリング   |            |                             |     |        |           |                |            |                |     |
| 授業科目名<br>＜英訳＞  |            | 自然地理学<br>Physical Geography |     |        |           | 担当者所属<br>職名・氏名 |            | 文学研究科 教授 水野 一晴 |     |
| 群  | 人文・社会科学科目群 |                             |     | 分野(分類) | 地域・文化(基礎) |                |            | 使用言語           | 日本語 |
| 旧群   | A群         | 単位数                         | 2単位 | 週コマ数   | 1コマ       | 授業形態           | 講義（対面授業科目） |                |     |
| 開講年度・<br>開講期   | 2025・前期    |                             | 曜時限 | 火2     |           | 配当学年           | 全回生        | 対象学生           | 全学向 |
| 【授業の概要・目的】   |            |                             |     |        |           |                |            |                |     |
| <p>2万年前の最終氷期（氷河時代）が我々の生活にどのように関わっているのか？、過去2千年間の気候変動が世界の歴史とどのような関係にあるのか？、近年の温暖化は世界の氷河や植生分布をどのように変化させているのか？、環境変化は高山や砂漠などの厳しい自然や生態、住民生活や社会にどのような影響をもたらすのか？、インドのヒマラヤ地域に住む人々はその厳しい自然の中でどのように暮らし、社会をつくっているのか？、海外調査はなぜおもしろく、人生を有意義にさせるのか？について考え、理解を深める。</p>   |            |                             |     |        |           |                |            |                |     |
| 【到達目標】   |            |                             |     |        |           |                |            |                |     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然のおもしろさを理解する。</li> <li>・ 自然と社会・文化との関係を理解する。</li> <li>・ 世界の興味深い事象を理解する。</li> <li>・ 海外に出ることのおもしろさや重要さを理解する。</li> </ul>   |            |                             |     |        |           |                |            |                |     |
| 【授業計画と内容】  |            |                             |     |        |           |                |            |                |     |
| <p>以下の疑問に関し、1 課題あたり 1 ～ 3 週の授業をする予定である。</p> <p>1．2 万年前の氷期（氷河時代）が現在の我々の生活環境（地形や動・植物分布）にどのように関わっているか？<br/>例：新宿に高層ビルが多く、渋谷、品川、上野に少ないのはなぜか？大阪駅が階段の多いのはなぜか？JRの目黒や金山、千種の駅が地下にあるのはなぜか？</p> <p>2．過去 2 千年間の気候変動が世界の歴史的事象にどのように関わっているのか？<br/>例：なぜ、平安時代は長く続き、その後は短いのか？</p> <p>3．近年の地球温暖化が高山（ケニア山、キリマンジャロ、アンデス）の氷河や植生にどのように関わっているか？<br/>例：20年後にはアフリカの高山から氷河が消え、植物が山を登る？</p> <p>4．近年の環境変化は砂漠（ナミブ砂漠）の植生や動物、人間生活とどのような関わりがあるか？<br/>例：ナミブ砂漠に住む砂漠ゾウはどうやって生きているのか？砂漠に住む人々は何を食べ、どうやって現金収入を得るのか？</p> <p>5．なぜ、そこに「お花畑」があるのか？<br/>例：日本アルプスを縦走していると突然「お花畑」が出現する理由は？</p> <p>6．インドのアルナ - チャル・プラデ - シュ州（アッサムヒマラヤ、インドと中国の国境紛争地帯）の自然とそこに住むチベット系住民の生活や社会はどのようなものか？<br/>例：アッサムヒマラヤの社会・文化は河口慧海が百年前に旅したチベットとどのような関係があるのか？</p> <p>7．海外調査はなぜおもしろいのか？ アフリカ編（ケニア、タンザニア、ウガンダ、エチオピア、マダガスカル、カメルーン、ギニア、ナミビア、ボツワナ、ナミビア、南ア、レソト、チュニジア）</p> <p>例：なぜ、コーヒーはエチオピアで飲むとおいしいのか？なぜ、ボツワナやナミビアでは道ばたにごろごろスイカが自然に生えているのか？</p> <p>8．海外調査はなぜおもしろいのか？ 南米・アジア・ヨーロッパ・ポリネシア編（ポリビア、ペ</p> |            |                             |     |        |           |                |            |                |     |
| ----- 自然地理学(2)へ続く -----  |            |                             |     |        |           |                |            |                |     |

## 自然地理学(2)

ルー、インド、タイ、ラオス、ドイツ、タヒチ、イースター島)

例：なぜ、ハワイ、マダガスカル、マオリ（ニュージーランド）、インドネシア、高砂（台湾）、タヒチ、ラパヌイ（イースター島）は互いに何千キロも離れているのに似たような言葉を話すのか？

### 【履修要件】

特に地理学の知識は必要ない。高校で地理を受講していなくても問題はない。  
文学部の「地理学講義」を取る人は、同じ年度にこの授業を取ることは避けてほしい（年度が異なればよい）。

### 【成績評価の方法・観点】

- ・平常点（出席状況）、受講態度、授業期間内での試験で総合的に評価するが、とくに出席重視なので、3分の2以上出席する意思がない人はこの授業を取らないようしてください（単位は取れません）。
- ・毎回出席カードを配って、それに意見や感想、質問等を書いてもらう（内容で評価はしないが、何も書いてなければカードを出しても出席扱いにはならない）。
- ・授業期間内での試験は、授業期間の終わり頃（7月）に行う。教育実習や祇園祭の山鉾引き従事など何か特別な事情で試験の受けられない人は、事前に申し出れば別に考慮する。事後の申し出は、急を要する特別な理由で証明書がないかぎり原則、受け付けない（毎年、親戚の不幸や法事等の理由が異常に多いため）。

### 【教科書】

毎回プリントを配るので、それを以前配ったものも含めて毎回持ってくること。

### 【参考書等】

（参考書）  
授業中に紹介する

### 【授業外学修（予習・復習）等】

とくに予習・復習を必要としない。

### 【その他（オフィスアワー等）】

地図帳（高校や中学の時に使用した帝国書院や二宮書店などの発行のもの。持っていない人は本屋で購入のこと）を受講の際に必ず携帯すること。

### 【主要授業科目（学部・学科名）】